

各位

会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 小池 正道  
(コード：4583 東証グロース)

#### 第4回日本抗体学会学術大会でのADLib<sup>®</sup>システムに関する研究成果発表のお知らせ

この度、当社の抗体作製技術のADLib<sup>®</sup>システムによる膜タンパク質を標的とする抗体取得と親和性向上に関する研究成果について、第4回日本抗体学会学術大会（開催地：大宮ソニックシティ、開催期間：2025年12月1日(月) - 12月3日(水)）において発表いたしますので、お知らせいたします。

ADLib<sup>®</sup>システムは、当社独自の抗体取得プラットフォームとして、これまでに様々な抗原に対して抗体作製を行ってきました。本研究では、多くの創薬ターゲットである一方で複雑な構造や低い可溶性により抗体取得が困難とされている「膜タンパク質」について、ADLib<sup>®</sup>システムおよびADLib<sup>®</sup>システムを応用した独自技術を用いて、難溶性の膜タンパク質を標的とする抗体の取得と親和性成熟を効率的に行う方法の確立を目的として進めました。本発表では、研究成果について結果を報告いたします。

本結果は、創薬標的に対するADLib<sup>®</sup>システムの利用可能性を拡げ、当社で推進している創薬研究や受託研究を促進するものと期待しています。

学会発表の概要は下記の通りです。

演題番号：B-068

日時：2025年12月2日(火) 15:20-16:40

発表形式：ポスター

タイトル：「ADLib<sup>®</sup>システムを用いた抗膜タンパク質抗体取得と親和性成熟」

日本抗体学会 HP [第4回日本抗体学会学術大会のご案内](#)

<ADLib<sup>®</sup>システム>

ニワトリ DT40 細胞の抗体遺伝子の組換え活性化によって抗体を作製する技術であり、1) 治療薬や診断薬の候補抗体の作製が迅速である（セレクションからスクリーニングまで最短 10 日間程度で完了）、2) 独自の多様化メカニズムに基づいた抗体作製が可能、3) 得られた抗体の標的に対する結合力の強化（親和性向上）が容易、といった特長を有しております。ADLib<sup>®</sup>は当社の登録商標です。

【本件に関する問い合わせ】

株式会社カイオム・バイオサイエンス IR 担当

電話：03-6383-3561